

ぼくを葬る（おくる）（2005）

LE TEMPS QUI RESTE
TIME TO LEAVE

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 フランス

色彩 Color

時間 81分

初公開日 2006/04/22

公開情報 ギャガ・コミュニケーションズ

映倫 R-15

【キャッチコピー】

余命3ヶ月――。
あなたには何が残せますか？

【解説】

「8人の女たち」「ふたりの5つの分かれ路」の鬼才フランソワ・オゾン監督が、「まぼろし」に続いて描く“死”をめぐる3部作の第2作目。ある日突然余命3ヶ月と知った主人公が、自らの死と向き合い過ごす最期の時間を静かに見つめる。主演はフランス期待の若手実力派メルヴィル・プポー。主人公の祖母役で大女優ジャンヌ・モローが出演。

パリで活躍する気鋭の人気ファッション・フォトグラファー、ロマンは、ある日撮影中に突然倒れてしまう。診断の結果は末期のガン。医師の勧める化学療法を拒んだ彼の余命は3ヶ月と告げられる。様々な感情がロマンの心に押し寄せる。愛しているものの、なかなかうまく折り合うことができずにいた家族には、このことを秘密にすると決めたロマン。一方、恋人の青年サシャには、冷たく別れを告げてしまう。そんな中、唯一心を許す祖母にだけは自分の苦しみを素直に打ち明けるのだった。そして、死が迫る中、ロマンの心にある想いが芽生え始める。

【クレジット】

監督	フランソワ・オゾン	Francois Ozon	
製作	オリヴィエ・デルボス マルク・ミソニエ	Olivier Delbosc Marc Missonnier	
脚本	フランソワ・オゾン	Francois Ozon	
撮影	ジャンヌ・ラポワリー	Jeanne Lapoirie	
プロダクション デザイン	カーチャ・ヴィシュコフ	Katia Wyszkop	
衣装デザイン	パスカリーヌ・シャヴァンヌ	Pascaline Chavanne	
編集	モニカ・コールマン	Monica Coleman	
出演	メルヴィル・プポー	Melvil Poupaud	ロマン
	ジャンヌ・モロー	Jeanne Moreau	ローラ
	ヴァレリア・ブルーニ・テデスキ	Valeria Bruni Tedeschi	ジャニー
	ダニエル・デュヴァル	Daniel Duval	父
	マリー・リヴィエール	Marie Riviere	母
	クリスチャン・センゲワルト	Christian Sengewald	サシャ

ルイーズ＝アン・ヒッポー	Louise-Anne Hippeau	ソフィー
アンリ・ドゥ・ロルム	Henri de Lorme	医師
ウォルター・パガノ	Walter Pagano	ブルーノ
ウゴ・スーザン・トラベルシ	Ugo Soussan Trabelsi	ロマン（少年時代）
アルバ・ガイア・クラゲード・ベルージ	Alba Gaia Kraghede Bellugi	ソフィー（少女時代）